

会 議 録 (要旨)

会 議 名	第9回瑞穂町行政評価委員会
開 催 日 時	平成25年6月26日(水) 午前10時から午前11時7分まで
開 催 場 所	瑞穂町民会館第1会議室
出 席 者	出席者：村山委員長、大野委員、木村委員、野口委員、橋本委員、平山委員 説明員 【国民健康保険事業】：小野住民課長、井上国保係長 【生活道路の整備事業】：田中建設課長、田島土木係長 【貸し出し体制の充実】：宮坂図書館長、大野図書係長 事務局：栗原企画課長、高橋企画係長、企画係榎本
配 布 資 料	事前配布資料 ・平成24年度事務事業評価シート【国民健康保険事業】 【生活道路の整備事業】 【貸し出し体制の充実】 ・平成25年度国民健康保険税(料)率等の状況(資料1) ・平成23年度一般会計その他繰入率順位(資料2) ・平成24年度工事实績及び平成25年度工事予定箇所図 ・行政評価委員会委員用補助資料
議 題	1 開 会 2 議 題 (1) 平成24年度事務事業評価シートの外部評価について ①【国民健康保険事業】 ②【生活道路の整備事業】 ③【貸し出し体制の充実】 3 その他
傍 聴 者	なし
審 議 経 過	1 開会 ※村山委員長から会議公開についての説明が行われ、会議が進められた。 2 議題 (1) 平成24年度事務事業評価シートの外部評価について (栗原企画課長) ※審査に入る前に、事務局より資料の確認及び事務事業外部評価の目的について説明があった。 ①【国民健康保険事業】 ※説明員から平成24年度事務事業評価シート【国民健康保険事業】に基づき、事業概要の説明があった。

(小野住民課長)

※内容・目的についての補足説明

国民健康保険加入者は、平成24年度末現在で一般被保険者11,359人、退職被保険者441人である。

65歳から69歳の方の76%、70歳から74歳の方の81%が国民健康保険の加入者である。

今年度、国民健康保険運営協議会で国民健康保険税率の改定に向け検討する。

○事前意見及び質問並びに説明員の回答

(野口委員)

国民健康保険税率が、近隣他市町村に比べ低いのは何故か。

(井上国保係長)

住民一人当たりの医療費が低いためである。

○質問及び説明員の回答

(平山委員)

中小企業は法的に、社会保険に加入しなくてはならないが、国民健康保険に加入している企業がある。マイナンバー制度の導入で窓口での加入時審査は厳格化するのか。

(小野住民課長)

町でも、厳格に確認している。

(野口委員)

今後の、医療給付費のシミュレーションは出来ているのか。

(小野住民課長)

国民健康保険税の改定にあわせ、医療給付費等をシミュレーションし適正な税率及び負担を検討していきたい。

②【生活道路の整備事業】

※説明員から平成24年度事務事業評価シート【生活道路の整備事業】に基づき、事業概要の説明があった。

(田中建設課長)

※内容・目的についての補足説明

昨年度に実施した工事の写真を回付し補足説明。

長岡地区に、車道7m、歩道2.5mの道路を新設した。

殿ヶ谷地区の、行き止まりの道路に5mの道路を接続し、行き止まりを解消した。

同じく殿ヶ谷地区の、残堀川の仲町橋から青梅街道までの間の道路を5mに拡幅する工事を行った。

舗装の打換え工事を何か所か行い、交通の円滑化、快適化をはかり、地域住民の生活環境の向上を図った。

○事前意見及び質問並びに説明員の回答

(大野委員)

権利者の同意が得られなかったのは、どのような理由か。

(田中建設課長)

理由はさまざまである。建設課としては、粘り強く何年も交渉をしてきたが、結果として合意を得られなかった。

(大野委員)

都の補助事業の採択基準、補助率を教えてください。

(田中建設課長)

都の補助事業の採択基準は、主要幹線道路を結ぶ町道で、交通量が多く、また、都道等に接続される道路が位置づけられている。

補助率は、舗装の打換え工事は3/10補助で、道路改良事業（新設道路）等は1/2補助である。

(大野委員)

事務事業評価シートで人員増の必要について、必要ではないとあるが、技術職員を配置すれば解消できるか。また、外部委託はどのようなことか。

(田中建設課長)

現在、建設課の職員は16人中、技術職は1人である。建設課としては技術職の配置が望ましい。また、それらを補うために専門のコンサルタント会社等に外部委託をしている。

○意見及び提言

(野口委員)

特定の地区に偏ることなく、計画的に道路整備を行っていただきたい。

(田中建設課長)

町内くまなく確認しながら実施している。

○質問及び説明員の回答

(橋本委員)

自転車が走る場所は、車道と法で定められたようだが、強制力はあるのか。

(田中建設課長)

本来なら、自転車道を設けなくてはならないが、町内の生活道路は幅員が狭いため自転車道の区分は出来ない状況である。

(木村委員)

事業費が年々減少傾向であるが、大きな工事が減ってきているのか、また、増加することもあるのか。

(田中建設課長)

長岡コミュニティセンター新築にあたり整備事業を、平成20年度から平成23年度まで周辺道路を整備した。そのため、平成24年度は事業費が減少した。今後については、維持補修工事も行いながら、町で企画している水・緑と観光を繋ぐ回廊計画を予定しているため事業費は増加する予定である。

(栗原企画課長)

補足であるが、予算の分け方があり、都市計画道路事業及び区画整理事業は生活道路の整備事業の予算には含まれない。長岡の整備事業が平成23年度に終了したため、今までの予算に戻ったと考えて欲しい。

③【貸し出し体制の充実】

※説明員から平成24年度事務事業評価シート【貸し出し体制の充実】に基づき、事業概要の説明があった。

(宮坂図書館長)

※内容・目的についての補足説明

今の図書館は老朽化の問題を抱えている、平成26年に耕心館南側に新たな郷土資料館がオープンするのに伴い、3階にある郷土資料館が移転する。このことから、図書館内の配置換えを考えて、どれだけ快適になるか検討している。

○事前意見及び質問並びに説明員の回答

(大野委員)

夜間開館業務についての効果及び利用者の年齢層等を教えていただきたい。

(宮坂図書館長)

利用者の利便性の向上を考えて始めた事業で、週に一度、仕事等で日中に来館できない方を対象に、平成11年7月より午後8時までの開館を始めた。

平成23年4月より毎日午後6時までの時間延長を行っている。

利用者は、夜8時までの夜間開館では1,035人来館している。

内訳として、一般利用者は約70%、学生が約7%、児童生徒が約20%、幼児が約3%である。

(野口委員)

お勧めコーナーの内容や、新入荷した本の紹介などのメール配信サービ

スや、箱根ヶ崎駅に返却ポストの設置などは行っているか。

(宮坂図書館長)

メール配信では読書講演会のお知らせをした。新入荷した本は、広報みずほに掲載し、また、図書館のホームページに掲載し紹介した。

返却ポストについては、現在、箱根ヶ崎駅の改札を出たところに設置されているが、わかりづらいとの意見が寄せられているため、目立たせるよう考えて行きたい。

○質問及び説明員の回答

(平山委員)

閉館日は、いつか。

(宮坂図書館長)

毎週月曜日と、祝日である。また、毎月16日が図書の整理日になっている。

(平山委員)

広域で図書を借りられることは良いと思うが、他市町村の閉館日も月曜日が多いので、閉館日をずらしてもらえると、利用者の利便性向上になるのではないか。

(宮坂図書館長)

西多摩地域広域行政圏で、議題になっている。

あきる野市は、閉館日を変更し実施している。

自治体ごとに、閉館日を変えてくことも、検討していきたい。

(木村委員)

未返却者に対してハガキを郵送しているが、何人ぐらいで郵送代はどのぐらい掛かっているのか。効果はどうか。また、返却されなかったものはどうしているのか。

(宮坂図書館長)

平成24年度の実績で、年間3回で1, 434通を郵送している。

返却されないものは、色々と追跡するが最終的には不明本となる。平成25年度は、返却されないものは早めに電話連絡をし、返却をお願いしている。なくした場合は、費用弁償か実物弁償をお願いしている。

閉会 午前11時7分